

21~4・19) 真心が伝わるプレゼントが幸運の鍵。
 20~5・20) 足元を見られがトラブルを防ぎます。
 21~6・21) 雑用が多いと大きな幸運がありそう。
 22~7・22) 何事も我慢が出しゃばると責任問題も。

★獅子座 (7・23~8・22) 海外がらみで幸運あり。外国人と知り合っ
 て意気投合も。
 ★乙女座 (8・23~9・22) 仕事や人間関係で注目あり。期待に
 応えて幸運です。
 ★天秤座 (9・23~10・23) 他人を信じて幸運あり。お人
 よしに徹して良いことも。
 ★蠍座 (10・24~11・22) 迷い多し。一歩引いて視野を
 広げて活路が見えそう。

★射手座 (11・23~12・21) 異性運好調。異性からの誘い
 に乗って幸運あり。
 ★山羊座 (12・22~1・19) 家族とのトラブルあり。夕食時
 の会話が仲直りの鍵に。
 ★水瓶座 (1・20~2・18) 好奇心が旺盛なとき。仕事
 がらみの習い事に幸運あり。
 ★魚座 (2・19~3・20) 親しい友達との飲食が、信頼
 関係を発展させそうです。

大阪や伊勢神宮などと熊野を結ぶ祈りの道「熊野古道」。主要ルートが世界遺産に登録されて10周年となった昨年、毎日新聞和歌山面では、画家の熱田親憲さん(79)一兵庫県宝塚市一の「熊野古道みちくさ記」を連載しています。その掲載分のうち、京都を起点として大阪を通る道を今回から大阪面で再掲します。熱田さんは2007年7月~08年9月、御堂筋周辺を絵と文章で描く「御堂筋ものがたり」を大阪面で55回連載しました。その時のような優しい絵筆で皆さんの身近な訪問地を紹介します。

熊野古道

みちくさ記

1

これまで熊野三山のお祭を中心に霊山に集う観光客に交じって、普段味わえない雰囲気の中で祭を体感してき

た。熊野詣と言われた昔も、世界文化遺産となった今もなお、観光客や参詣者が後を絶たない現実を思うと、熊野詣のルーツが気になった。歴史をたどると、熊

熊野詣の起点・城南宮

絵と文・熱田親憲

題字・熱田素華



城南宮(京都市伏見区中島烏羽離宮町)にて

野詣は987年に花山やかつて、今では方除、年催される「曲水の宴」世日本とに繋がりを感じた。熊野詣の歴史は、法皇の熊野御幸から始まり、本格化したのは白河上皇の院政となつた1090年ごろからである。白河上皇は熊野御幸に立出ることになり、赤い正門を通過して、巫女さんに迎えられて祈禱殿前に進む。建築様式から平安時代後期の重みを感じ、神職に祈禱を続けたという。楔板を続けたという。尋ねると、昔の離宮は、測量地形で東西1・5

城南宮の鳥居をくぐり、別荘・蘭亭で催された曲水の宴(353年3月3日)は古来中国で有名だった。41人の名士を招き、楔板の礼を行った後、曲水の流れた池に垂れる生き生きとした赤松に元氣をもらい、離宮の散策を楽

安全祈り 古人の魂に学ぶ

をみると、神聖な白装束で城南宮の脇を流れる鴨川の下鳥羽辺りから乗船し、大阪・八軒家に向かっている。上皇にとっては1カ月前の旅を決意すること。は決死の覚悟であった。ようだ。白装束で道中を祈ったのである。「平安の庭」に入る。程よい曲線の流れをもつ小川が現れ、毎

をみると、神聖な白装束で城南宮の脇を流れる鴨川の下鳥羽辺りから乗船し、大阪・八軒家に向かっている。上皇にとっては1カ月前の旅を決意すること。は決死の覚悟であった。ようだ。白装束で道中を祈ったのである。「平安の庭」に入る。程よい曲線の流れをもつ小川が現れ、毎

上皇の安全祈願にあ

次回11月30日掲載予定